

整理番号：9－11

提言題名：取手市の新型コロナウイルス対策をもっと拡大して欲しい

### 【提言の要旨】

取手市のコロナ対策は足りない。

#### ①小中学校の臨時休校のあり方について

分散登校やらもっと工夫すべきである。

#### ②学童クラブの対応について

小学校3年生までとは、どういうことか。

#### ③テイクアウトの応援のやり方について

なぜマッチマーケットのみなのか。取手市の税金を投入してつくった再開発ビル（旧東急ビル）とか使わないで、なぜ目立たない店のみなのか。他の自治体ではテイクアウト券を市民に配ったり工夫している。

（令和2年5月受付）

### 【回答の要旨】

①本市の公立小中学校につきましては、児童生徒の安全を確保するための最大限の手立てを講じた上で、5月25日（月）より、分散登校を開始いたしました。各学校の児童生徒数に応じて、一教室の人数を14名以内とした1～3班の編成で、午前中授業を実施しております。また、兄弟姉妹や同地区の児童生徒と一緒に登下校できるよう、小中連携による集団登下校という、他市町村にはない工夫・配慮を行った上での実施をしております。

今後、6月4日（木）までに、計3回の分散登校を実施しながら、各学校の状況や県が示す学校再開の方針等を踏まえて、今後の通常登校再開に向けて取り組んでまいります。

（指導課 令和2年5月回答）

②今回お問い合わせいただいた件は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月3日から同年3月24日まで市内小中学校が臨時休校となったことに伴い、放課後子どもクラブを規模縮小して、臨時開所した件についてのことと思います。

まず、4年生以上の児童の放課後子どもクラブの利用をお断りした経緯ですが、臨時開所中は「新型コロナウイルスの感染拡大防止」及び「クラブ利用児童の安全確保」の観点からクラブ室と小学校の利用可能な教室を利用し、一部屋あたり概ね9名程度（児童の間隔を2メートル以上確保）として運営しておりました。このため、対象児童を「就労家庭で4年生以上の兄弟や親族が不在のため、1人で留守番をすることが困難な1年生から3年生までの児童」と限定したため、お断りせざるを得ない状態でした。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための放課後子どもクラブの運営につきましては、各自自治体で様々な考えがあるかと思いますが、どうかご理解いただきますようお願い申し上げます。

(スポーツ生涯学習課 令和2年5月回答)

③テイクアウトの応援についてですが、本市では新型コロナウイルス感染症の影響を受けた飲食店事業者を支援するため、様々な施策を展開しているところです。

施策内容としては、市商工会と連携して、テイクアウトを実施する飲食店を紹介する専用ウェブサイト「TORIDE TAKEOUT (トリデ テイクアウト)」の開設や、「テイクアウト事業補助金」としまして、取手駅ビル1階の「MATCH MARKET (マッチマーケット)」でテイクアウト商品が販売できるように出店料等の補助を行うものです。

その他にも市では5月22日に飲食店事業者の支援と市民の消費喚起が図れるよう、「出前・テイクアウト商品応援補助金」を創設しました。具体的には、出前もしくはテイクアウトにより提供する商品1品につき、販売価格の1/2又は、300円を上限とする額を補助するもので、飲食店事業者には「売りやすく」、市民には「買いやすい」ものとして、市内経済の活性化が図れるよう期待しているところです。現在、参加店舗を募集しているところであり、広報とりで6/1号にも掲載周知いたします。

ご指摘の「なぜマッチマーケットなのか」という点ですが、飲食店事業者の中にはテイクアウトを実施しようにも店舗の立地状況等が理由で、思うように実施しにくい店舗もあるものと考えております。例えば、来客用駐車場が確保できなかつたり、店舗が建物の2階以上にあり、思うように広報周知できない等が想定されます。そのような飲食店事業者の販売場所の確保・販路拡大・販売支援ができるように、テイクアウト事業補助制度を設けております。

市では、引き続き、飲食店事業者の支援を実施していくとともに、その他の新型コロナウイルスの影響を受けた事業者の支援ができるよう取り組んでまいります。ご理解ご協力をいただけますようお願い申し上げます、回答に代えさせていただきます。

(産業振興課 令和2年5月回答)